

新潟県土木工事標準仕様書（その2） 新旧対照表

ページ	項目	現行(令和7年1月以降適用版)	改定案(令和8年2月20日以降適用版)	改定理由
1	表紙	<p>新潟県土木工事標準仕様書</p> <p>その2</p> <p>令和7年2月</p> <p>新潟県土木部</p>	<p>新潟県土木工事標準仕様書</p> <p>その2</p> <p>令和8年1月</p> <p>新潟県土木部</p>	

新潟県土木工事標準仕様書（その2） 新旧対照表

ページ	項目	現行(令和7年1月以降適用版)	改定案(令和8年2月20日以降適用版)	改定理由
3	改正経緯	<p style="text-align: center;">新潟県土木工事標準仕様書改正経緯</p> <p>平成 2年 4月 1日全部改定・同日施行 平成 4年 4月 1日一部改定・同日施行 平成 5年 6月 1日一部改定・同日施行 平成 5年10月 1日一部改定・同日施行 平成 6年 4月 1日一部改定・同日施行 平成10年 4月 1日全部改定・同日施行 平成14年 4月 1日全部改定・同日施行 平成17年10月 1日全部改定・同日施行 平成20年 4月 1日全部改定・同日施行 平成22年10月 1日一部改定・同日施行 平成24年 4月 1日全部改定・同日施行 平成25年 4月 1日一部改定・同日施行 平成26年 6月 1日全部改定・同日施行 平成28年 7月 1日一部改定・同日施行 平成29年10月 1日一部改定・同日施行 平成30年 8月 1日一部改定・同日施行 令和 元年 9月 1日一部改定・同日施行 令和 3年 2月15日一部改定・同日施行 令和 4年 2月15日一部改定・同日施行 令和 5年 1月 1日一部改定・同日施行 令和 6年 1月 1日一部改定・同日施行 令和 7年 2月20日一部改定・同日施行</p>	<p style="text-align: center;">新潟県土木工事標準仕様書改正経緯</p> <p>平成 2年 4月 1日全部改定・同日施行 平成 4年 4月 1日一部改定・同日施行 平成 5年 6月 1日一部改定・同日施行 平成 5年10月 1日一部改定・同日施行 平成 6年 4月 1日一部改定・同日施行 平成10年 4月 1日全部改定・同日施行 平成14年 4月 1日全部改定・同日施行 平成17年10月 1日全部改定・同日施行 平成20年 4月 1日全部改定・同日施行 平成22年10月 1日一部改定・同日施行 平成24年 4月 1日全部改定・同日施行 平成25年 4月 1日一部改定・同日施行 平成26年 6月 1日全部改定・同日施行 平成28年 7月 1日一部改定・同日施行 平成29年10月 1日一部改定・同日施行 平成30年 8月 1日一部改定・同日施行 令和 元年 9月 1日一部改定・同日施行 令和 3年 2月15日一部改定・同日施行 令和 4年 2月15日一部改定・同日施行 令和 5年 1月 1日一部改定・同日施行 令和 6年 1月 1日一部改定・同日施行 令和 7年 2月20日一部改定・同日施行 令和 8年 1月20日一部改定・同日施行</p>	

新潟県土木工事標準仕様書（その2） 土木施工管理基準 新旧対照表

ページ	項目	現行(令和7年2月20日以降適用版)	改定案(令和8年1月20日以降適用版)	改定理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11	目次	<p>【第3編 土木工事共通編】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>章、節</th> <th>条</th> <th>枝番</th> <th>適用する出来形管理基準</th> <th>頁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">第6節 一般舗装工</td> <td rowspan="10">3-1-6-11ダースアスファルト舗装工</td> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>表層工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>表層工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>粒状調整路盤工</td> <td></td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>セメント(石灰・澆着)安定処理工</td> <td></td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>アスファルト中間層</td> <td></td> <td>83</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>コンクリート舗装工</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(下層路盤工)</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-13薄層カラー舗装工</td> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-14ブロック舗装工</td> <td>基礎工</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-14ブロック舗装工</td> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>表層工</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-15路肩切戻工</td> <td></td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-16舗装打替え工</td> <td></td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-17オーバーレイ工</td> <td></td> <td>96</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">第7節 地盤改良工</td> <td rowspan="2">3-1-7-2路床安定処理工</td> <td></td> <td></td> <td>97</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>97</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-3表層工</td> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-4表層安定処理工</td> <td>サンドマット海上</td> <td>第3編3-1-7-6サンドマット工</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>I C T施工の場合</td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-5バイルネット工</td> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-7-6サンドマット工</td> <td>サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>バールドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>袋詰式サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-8締めめ改良工</td> <td>サンドコンパクションバイル工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3-1-7-9固結工</td> <td>粉体噴射攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>高圧噴射攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>スラリー攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生石灰バイル工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>スラリー攪拌工</td> <td>「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>中間混合処理工</td> <td></td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>	章、節	条	枝番	適用する出来形管理基準	頁	第6節 一般舗装工	3-1-6-11ダースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		78	表層工		78	表層工		78	3-1-6-12コンクリート舗装工	下層路盤工		81	粒状調整路盤工		81	セメント(石灰・澆着)安定処理工		83	アスファルト中間層		83	3-1-6-12コンクリート舗装工	コンクリート舗装工		85	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		85	転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)		85	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)		88	3-1-6-12コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		88	転圧コンクリート版工		88	3-1-6-13薄層カラー舗装工	下層路盤工		91	上層路盤工(粒状調整路盤工)		91	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		92	加熱アスファルト安定処理工		92	3-1-6-14ブロック舗装工	基礎工		92	下層路盤工		93	上層路盤工(粒状調整路盤工)		93	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		94	3-1-6-14ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		94	表層工		94	3-1-6-15路肩切戻工		95	3-1-6-16舗装打替え工		95	3-1-6-17オーバーレイ工		96	第7節 地盤改良工	3-1-7-2路床安定処理工			97			97	3-1-7-3表層工			98			98	3-1-7-4表層安定処理工	サンドマット海上	第3編3-1-7-6サンドマット工	98	I C T施工の場合		98	3-1-7-5バイルネット工			98			99	3-1-7-6サンドマット工	サンドドレーン工		99	サンドドレーン工		99	バールドレーン工		99	袋詰式サンドドレーン工		99	3-1-7-8締めめ改良工	サンドコンパクションバイル工		99			100	3-1-7-9固結工	粉体噴射攪拌工		100	高圧噴射攪拌工		100	スラリー攪拌工		100	生石灰バイル工		100	スラリー攪拌工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合	100	中間混合処理工		101	<p>【第3編 土木工事共通編】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>章、節</th> <th>条</th> <th>枝番</th> <th>適用する出来形管理基準</th> <th>頁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">第6節 一般舗装工</td> <td rowspan="10">3-1-6-11ダースアスファルト舗装工</td> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>基礎工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>表層工</td> <td></td> <td>78</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>粒状調整路盤工</td> <td></td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>セメント(石灰・澆着)安定処理工</td> <td></td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>アスファルト中間層</td> <td></td> <td>83</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>コンクリート舗装工</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(下層路盤工)</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-12コンクリート舗装工</td> <td>転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート版工</td> <td></td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-13薄層カラー舗装工</td> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-14ブロック舗装工</td> <td>基礎工</td> <td></td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>下層路盤工</td> <td></td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(粒状調整路盤工)</td> <td></td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-6-14ブロック舗装工</td> <td>加熱アスファルト安定処理工</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>表層工</td> <td></td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-15路肩切戻工</td> <td></td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-16舗装打替え工</td> <td></td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>3-1-6-17オーバーレイ工</td> <td></td> <td>96</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">第7節 地盤改良工</td> <td rowspan="2">3-1-7-2路床安定処理工</td> <td></td> <td></td> <td>97</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>97</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-3表層工</td> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-4表層安定処理工</td> <td>サンドマット海上</td> <td>第3編3-1-7-6サンドマット工</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>I C T施工の場合</td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-5バイルネット工</td> <td></td> <td></td> <td>98</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3-1-7-6サンドマット工</td> <td>サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>バールドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>袋詰式サンドドレーン工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-1-7-8締めめ改良工</td> <td>サンドコンパクションバイル工</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3-1-7-9固結工</td> <td>粉体噴射攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>高圧噴射攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>スラリー攪拌工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生石灰バイル工</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>スラリー攪拌工</td> <td>「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>中間混合処理工</td> <td></td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>	章、節	条	枝番	適用する出来形管理基準	頁	第6節 一般舗装工	3-1-6-11ダースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		78	基礎工		78	表層工		78	3-1-6-12コンクリート舗装工	下層路盤工		81	粒状調整路盤工		81	セメント(石灰・澆着)安定処理工		83	アスファルト中間層		83	3-1-6-12コンクリート舗装工	コンクリート舗装工		85	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		85	転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)		85	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)		88	3-1-6-12コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		88	転圧コンクリート版工		88	3-1-6-13薄層カラー舗装工	下層路盤工		91	上層路盤工(粒状調整路盤工)		91	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		92	加熱アスファルト安定処理工		92	3-1-6-14ブロック舗装工	基礎工		92	下層路盤工		93	上層路盤工(粒状調整路盤工)		93	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		94	3-1-6-14ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		94	表層工		94	3-1-6-15路肩切戻工		95	3-1-6-16舗装打替え工		95	3-1-6-17オーバーレイ工		96	第7節 地盤改良工	3-1-7-2路床安定処理工			97			97	3-1-7-3表層工			98			98	3-1-7-4表層安定処理工	サンドマット海上	第3編3-1-7-6サンドマット工	98	I C T施工の場合		98	3-1-7-5バイルネット工			98			99	3-1-7-6サンドマット工	サンドドレーン工		99	サンドドレーン工		99	バールドレーン工		99	袋詰式サンドドレーン工		99	3-1-7-8締めめ改良工	サンドコンパクションバイル工		99			100	3-1-7-9固結工	粉体噴射攪拌工		100	高圧噴射攪拌工		100	スラリー攪拌工		100	生石灰バイル工		100	スラリー攪拌工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合	100	中間混合処理工		101	基準類の改正
章、節	条	枝番	適用する出来形管理基準	頁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第6節 一般舗装工	3-1-6-11ダースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		表層工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		表層工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		3-1-6-12コンクリート舗装工	下層路盤工		81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			粒状調整路盤工		81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			セメント(石灰・澆着)安定処理工		83																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			アスファルト中間層		83																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		3-1-6-12コンクリート舗装工	コンクリート舗装工		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			転圧コンクリート版工(下層路盤工)		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)			88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-6-12コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		転圧コンクリート版工		88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		3-1-6-13薄層カラー舗装工	下層路盤工		91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			上層路盤工(粒状調整路盤工)		91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)			92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	加熱アスファルト安定処理工			92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-6-14ブロック舗装工	基礎工		92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下層路盤工		93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		上層路盤工(粒状調整路盤工)		93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)			94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3-1-6-14ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	表層工		94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3-1-6-15路肩切戻工		95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3-1-6-16舗装打替え工		95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3-1-6-17オーバーレイ工		96																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
第7節 地盤改良工	3-1-7-2路床安定処理工			97																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				97																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-3表層工			98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-4表層安定処理工	サンドマット海上	第3編3-1-7-6サンドマット工	98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		I C T施工の場合		98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-5バイルネット工			98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-6サンドマット工	サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		バールドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		袋詰式サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-8締めめ改良工	サンドコンパクションバイル工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-7-9固結工	粉体噴射攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	高圧噴射攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	スラリー攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	生石灰バイル工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	スラリー攪拌工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
中間混合処理工		101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
章、節	条	枝番	適用する出来形管理基準	頁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
第6節 一般舗装工	3-1-6-11ダースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		基礎工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		表層工		78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		3-1-6-12コンクリート舗装工	下層路盤工		81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			粒状調整路盤工		81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			セメント(石灰・澆着)安定処理工		83																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			アスファルト中間層		83																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		3-1-6-12コンクリート舗装工	コンクリート舗装工		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			転圧コンクリート版工(下層路盤工)		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			転圧コンクリート版工(粒状調整路盤工)		85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・澆着)安定処理工)			88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-6-12コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		転圧コンクリート版工		88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		3-1-6-13薄層カラー舗装工	下層路盤工		91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			上層路盤工(粒状調整路盤工)		91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)			92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	加熱アスファルト安定処理工			92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-6-14ブロック舗装工	基礎工		92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下層路盤工		93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		上層路盤工(粒状調整路盤工)		93																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)			94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3-1-6-14ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	表層工		94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3-1-6-15路肩切戻工		95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3-1-6-16舗装打替え工		95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3-1-6-17オーバーレイ工		96																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
第7節 地盤改良工	3-1-7-2路床安定処理工			97																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				97																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-3表層工			98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-4表層安定処理工	サンドマット海上	第3編3-1-7-6サンドマット工	98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		I C T施工の場合		98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-5バイルネット工			98																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-6サンドマット工	サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		バールドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		袋詰式サンドドレーン工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3-1-7-8締めめ改良工	サンドコンパクションバイル工		99																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-7-9固結工	粉体噴射攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	高圧噴射攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	スラリー攪拌工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	生石灰バイル工		100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	スラリー攪拌工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・パーチクルドレーン工」による管理の場合	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
中間混合処理工		101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

新潟県土木部標準仕様書(その2)土木工事施工管理基準(品質管理基準及び規格値)新旧対照表(案)

現行(令和7年2月20日適用版)								改定案(令和8年1月20日適用版)										
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	改定理由
1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	施工	必須	塩化物総量規制	「コンクリートの耐久性向上」仕様書	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前に1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数は3回とする)試験の判定は3回の測定値の平均値。	・小規模工種※で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミクスコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種あたりの総使用量が50m ³ 以上の場合は50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCE-C502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。 ・用心鉄筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、函渠工、樋門、樋管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)		1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	施工	必須	塩化物総量規制	「コンクリートの耐久性向上」仕様書	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前に1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数は3回とする)試験の判定は3回の測定値の平均値。	・小規模工種※で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミクスコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種あたりの総使用量が50m ³ 以上の場合は50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCE-C502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。 ・用心鉄筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、函渠工、樋門、樋管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)		
			単位水量測定	「レディーミクスコンクリート単位水量測定要領(案)(平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指示値を超える場合は、生コンを打込まずに、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで全運搬車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回に限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。	100m ³ /日以上の場合：2回/日(午前1回、午後1回)以上、重要構造物の場合は重要度に応じて100m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数は多い方を採用する。 水セメント比の測定を義務付ける重要構造物(プレキャスト製品を除く)については、1日当たりの打設量にかかわらず行うものとし、特記仕様書及び監督員の指示によるものとする。 【コンクリート単位水量測定器による生コンクリートの品質管理について(通知)】を参照。		単位水量測定				「レディーミクスコンクリート単位水量測定要領(案)(平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指示値を超える場合は、生コンを打込まずに、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで全運搬車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回に限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。	示方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20mm~25mmの場合は175kg/m ³ 、40mmの場合は165kg/m ³ を基本とする。 水セメント比の測定を義務付ける重要構造物(プレキャスト製品を除く)については、1日当たりの打設量にかかわらず行うものとし、特記仕様書及び監督員の指示によるものとする。 【コンクリート単位水量測定器による生コンクリートの品質管理について(通知)】を参照。				
			スランブ試験		スランブ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランブ8cm以上18cm以下：許容差±2.5cm スランブ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディーミクスコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランブ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランブ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。	・小規模工種※で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミクスコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種あたりの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、函渠工、樋門、樋管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)					スランブ試験		スランブ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランブ8cm以上18cm以下：許容差±2.5cm スランブ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディーミクスコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランブ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランブ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。	・小規模工種※で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミクスコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種あたりの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、函渠工、樋門、樋管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)		
			コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。(1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・試験の頻度等は、「コンクリート圧縮強度試験に用いる供試体の取り扱いの一部改訂について(通知)」(平成31年2月18日技第1036号)による。 なお、テストピースは打設場所から採取し、1回につき6個(σ700・3個、σ2800・3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(σ3)を追加で採取する。		1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。(1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)				・試験の頻度等は、「コンクリート圧縮強度試験に用いる供試体の取り扱いの一部改訂について(通知)」(平成31年2月18日技第1036号)による。 なお、テストピースの採取は、1回につき6個(σ700・3個、σ2800・3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(σ3)を追加で採取する。						

新潟県土木部標準仕様書(その2)土木工事施工管理基準(品質管理基準及び規格値)新旧対照表(案)

現行(令和7年2月20日適用版)								改定案(令和8年1月20日適用版)														
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	改定理由				
3 既製杭工	材料	必須	外観検査(鋼管杭・コンクリート杭・H鋼杭)	目視	目視により使用上有害な欠陥(鋼管杭は変形など、コンクリート杭はひび割れや損傷など)がないこと。	設計図書による。		○	3 既製杭工	材料	必須	外観検査(鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)・コンクリート杭・H鋼杭)	目視	目視により使用上有害な欠陥(鋼管杭は変形など、コンクリート杭はひび割れや損傷など)がないこと。	設計図書による。		○	適用範囲の明確化				
			施工	外観検査(鋼管杭)	JIS A 5525	【円周溶接部の目違い】 外径700mm未満：許容値2mm以下 外径700mm以上1016mm以下：許容値3mm以下 外径1016mmを超え2000mm以下：許容値4mm以下		上杭と下杭の外周長の差で表す。 (許容値×π以下)					適用範囲の明確化									
	その他	必須	鋼管杭・コンクリート杭・H鋼杭の現場溶接浸透探傷試験(溶剤除去性染色浸透探傷試験)	JIS Z 2343-1, 2, 3, 4, 5, 6	割れ及び有害な欠陥がないこと。	原則として全溶接箇所で行う。ただし、施工方法や施工順序等から全数量の実施が困難な場合は監督員との協議により、現場状況に応じた数量とすることができる。なお、全溶接箇所の10%以上は、JIS Z 2343-1, 2, 3, 4, 5, 6により定められた認定技術者が行うものとする。試験箇所は杭の全周とする。			3 既製杭工	材料	必須	鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)・コンクリート杭・H鋼杭の現場溶接浸透探傷試験(溶剤除去性染色浸透探傷試験)	JIS Z 2343-1, 2, 3, 4, 5, 6	割れ及び有害な欠陥がないこと。	原則として全溶接箇所で行う。ただし、施工方法や施工順序等から全数量の実施が困難な場合は監督員との協議により、現場状況に応じた数量とすることができる。なお、全溶接箇所の10%以上は、JIS Z 2343-1, 2, 3, 4, 5, 6により定められた認定技術者が行うものとする。試験箇所は杭の全周とする。			適用範囲の明確化				
			鋼管杭・H鋼杭の現場溶接放射線透過試験	JIS Z 3104	JIS Z 3104の1類から3類であること	原則として溶接20ヶ所毎に1箇所とするが、施工方法や施工順序等から実施が困難な場合は現場状況に応じた数量とする。なお、対象箇所では鋼管杭を4方向から透過し、その撮影長は30cm/1方向とする。 (20ヶ所毎に1箇所とは、溶接を20ヶ所施工した毎にその20箇所から任意の1ヶ所を試験することである。)						3 既製杭工	材料	必須	鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)・H鋼杭の現場溶接放射線透過試験	JIS Z 3104	JIS Z 3104の1類から3類であること	原則として溶接20ヶ所毎に1箇所とするが、施工方法や施工順序等から実施が困難な場合は現場状況に応じた数量とする。なお、対象箇所では鋼管杭を4方向から透過し、その撮影長は30cm/1方向とする。 (20ヶ所毎に1箇所とは、溶接を20ヶ所施工した毎にその20箇所から任意の1ヶ所を試験することである。)			適用範囲の明確化	
			鋼管杭の現場溶接超音波探傷試験	JIS Z 3060	JIS Z 3060の1類から3類であること	原則として溶接20ヶ所毎に1箇所とするが、施工方法や施工順序等から実施が困難な場合は現場状況に応じた数量とする。なお、対象箇所では鋼管杭を4方向から探傷し、その探傷長は30cm/1方向とする。 (20ヶ所毎に1箇所とは、溶接を20ヶ所施工した毎にその20箇所から任意の1ヶ所を試験することである。)	中掘り工法等で、放射線透過試験が不可能な場合は、放射線透過試験に替えて超音波探傷試験とすることができる。									3 既製杭工	材料	必須	鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)の現場溶接超音波探傷試験	JIS Z 3060	JIS Z 3060の1類から3類であること	原則として溶接20ヶ所毎に1箇所とするが、施工方法や施工順序等から実施が困難な場合は現場状況に応じた数量とする。なお、対象箇所では鋼管杭を4方向から探傷し、その探傷長は30cm/1方向とする。 (20ヶ所毎に1箇所とは、溶接を20ヶ所施工した毎にその20箇所から任意の1ヶ所を試験することである。)
鋼管杭・コンクリート杭(根固め)水セメント比試験		比重の測定による水セメント比の推定	設計図書による。 また、設計図書に記載されていない場合は60%~70%(中掘り杭工法)、60%(プレボーリング杭工法及び鋼管ソイルセメント杭工法)とする。	試料の採取回数是一般に単杭では30本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とする。			3 既製杭工	材料	必須	鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)・コンクリート杭(根固め)水セメント比試験					比重の測定による水セメント比の推定				設計図書による。 また、設計図書に記載されていない場合は60%~70%(中掘り杭工法)、60%(プレボーリング杭工法及び鋼管ソイルセメント杭工法)とする。	試料の採取回数是一般に単杭では30本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とする。		
鋼管杭・コンクリート杭(根固め)セメントミルクの圧縮強度試験	JIS A 1108	セメントミルク工法に用いる根固め液及びびく周固定液の圧縮強度試験	設計図書による。	供試体の採取回数は一般に単杭では30本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とすることが多い。 なお、供試体はセメントミルクの供試体の作成方法に従って作成したφ5×10cmの円柱供試体によって求めるものとする。	参考値：20N/mm ²						3 既製杭工	材料	必須	鋼管杭(鋼管ソイルセメント杭の鋼管を含む)・コンクリート杭(根固め)セメントミルクの圧縮強度試験	JIS A 1108				セメントミルク工法に用いる根固め液及びびく周固定液の圧縮強度試験	設計図書による。	供試体の採取回数は一般に単杭では30本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とすることが多い。 なお、供試体はセメントミルクの供試体の作成方法に従って作成したφ5×10cmの円柱供試体によって求めるものとする。	参考値：20N/mm ²

新潟県土木部標準仕様書(その2)土木工事施工管理基準(品質管理基準及び規格値)新旧対照表(案)

現行(令和7年2月20日適用版)							改定案(令和8年1月20日適用版)							改定理由										
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法		規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認						
11 アスファルト舗装	プラント	必須	粒度(75μmフルイ)	舗装調査・試験法便覧 [2]-16	75μmふるい: ±5%以内基準粒度	・中規模以上の工事: 定期的または随時。 ・小規模以下の工事: 異常が認められたとき。 印字記録の場合: 全数 または 抽出・ふるい分け試験 1~2回/日	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上、10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が100t以上、3,000t未満(コンクリートでは200m ³ 以上、1,000m ³ 未満)	○	11 アスファルト舗装	プラント	必須	粒度(75μmフルイ)	舗装調査・試験法便覧 [2]-16	75μmふるい: ±5%以内基準粒度	・中規模以上の工事: 定期的または随時。 ・小規模以下の工事: 異常が認められたとき。 印字記録の場合: 全数 または 抽出・ふるい分け試験 1~2回/日	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上、10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が100t以上、3,000t未満(コンクリートでは200m ³ 以上、1,000m ³ 未満)	○							
			アスファルト量抽出粒度分析試験	舗装調査・試験法便覧 [4]-238	アスファルト量: ±0.9%以内			○																
			温度測定(アスファルト・骨材・混合物)	温度計による。	配合設計で決定した混合温度。	随時		○																
	その他	必須	水浸ホイールトラッキング試験	舗装調査・試験法便覧 [3]-65	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐剥離性の確認	○	その他	必須	水浸ホイールトラッキング試験	舗装調査・試験法便覧 [3]-65	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐剥離性の確認	○								
			ホイールトラッキング試験	舗装調査・試験法便覧 [3]-44			アスファルト混合物の耐流動性の確認	○																
			ラベリング試験	舗装調査・試験法便覧 [3]-18			アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	○																
	舗設現場	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [3]-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所: 基準密度の90(94)%以上 () 書きは車道と同等の締固め度 ・ ・ ・ 大型車両が頻繁に走行する場合等に適用する	・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000m ² を超える場合は、10,000m ² 以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001~10,000m ² : 10孔 10,001m ² 以上の場合、10,000m ² 毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000m ² の場合: 6,000m ² /1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000m ² 以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 *なお、ごく小規模な工事(100m ² 以下までを目安)については監督員の指示により省略することができる。	・橋面舗装はコア採取しないでAs合材量(プラント出荷数量)と舗設面積及び厚さでの密度管理、または転圧回数による管理を行う。	○	舗設現場	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [3]-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所: 基準密度の90(94)%以上 () 書きは車道と同等の締固め度 ・ ・ ・ 大型車両が頻繁に走行する場合等に適用する	・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000m ² を超える場合は、10,000m ² 以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001~10,000m ² : 10孔 10,001m ² 以上の場合、10,000m ² 毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000m ² の場合: 6,000m ² /1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000m ² 以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 *なお、ごく小規模な工事(100m ² 以下までを目安)については監督員の指示により省略することができる。	・橋面舗装はコア採取しないでAs合材量(プラント出荷数量)と舗設面積及び厚さでの密度管理、または転圧回数による管理を行う。 ・コア採取の立会い、試験結果報告書の取扱い(規格値をはずれた場合など)は、土木建築材料試験事務取扱要領(土木工事標準仕様書その3)による。	○	適用範囲の明確化							
																			温度測定(初転圧前)	温度計による。	110℃以上 ※ただし、混合物の種類によって敷均しが困難な場合や、中温化技術により施工性を改善した混合物を使用する場合、締固め効果の高いローラを使用する場合などは、所定の締固め度が得られる範囲で、適切な温度を設定。	随時	測定値の記録は、1日4回(午前・午後各2回)。	○
																			外観検査(混合物)	目視		随時		○
																			すべり抵抗試験	舗装調査・試験法便覧 [1]-101	設計図書による	舗設車線毎200m毎に1回		○
舗設現場	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [3]-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所: 基準密度の90(94)%以上 () 書きは車道と同等の締固め度 ・ ・ ・ 大型車両が頻繁に走行する場合等に適用する	・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000m ² を超える場合は、10,000m ² 以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001~10,000m ² : 10孔 10,001m ² 以上の場合、10,000m ² 毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000m ² の場合: 6,000m ² /1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000m ² 以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 *なお、ごく小規模な工事(100m ² 以下までを目安)については監督員の指示により省略することができる。	・橋面舗装はコア採取しないでAs合材量(プラント出荷数量)と舗設面積及び厚さでの密度管理、または転圧回数による管理を行う。 ・コア採取の立会い、試験結果報告書の取扱い(規格値をはずれた場合など)は、土木建築材料試験事務取扱要領(土木工事標準仕様書その3)による。	○	舗設現場	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法便覧 [3]-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所: 基準密度の90(94)%以上 () 書きは車道と同等の締固め度 ・ ・ ・ 大型車両が頻繁に走行する場合等に適用する	・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000m ² を超える場合は、10,000m ² 以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001~10,000m ² : 10孔 10,001m ² 以上の場合、10,000m ² 毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000m ² の場合: 6,000m ² /1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000m ² 以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 *なお、ごく小規模な工事(100m ² 以下までを目安)については監督員の指示により省略することができる。	・橋面舗装はコア採取しないでAs合材量(プラント出荷数量)と舗設面積及び厚さでの密度管理、または転圧回数による管理を行う。 ・コア採取の立会い、試験結果報告書の取扱い(規格値をはずれた場合など)は、土木建築材料試験事務取扱要領(土木工事標準仕様書その3)による。	○	適用範囲の明確化								
																	温度測定(初転圧前)	温度計による。	110℃以上 ※ただし、混合物の種類によって敷均しが困難な場合や、中温化技術により施工性を改善した混合物を使用する場合、締固め効果の高いローラを使用する場合などは、所定の締固め度が得られる範囲で、適切な温度を設定。	随時	測定値の記録は、1日4回(午前・午後各2回)。	○		
																	外観検査(混合物)	目視		随時		○		
																	すべり抵抗試験	舗装調査・試験法便覧 [1]-101	設計図書による	舗設車線毎200m毎に1回		○		

新潟県土木部標準仕様書(その2)土木工事施工管理基準(品質管理基準及び規格値)新旧対照表(案)

現行(令和7年2月20日適用版)								改定案(令和8年1月20日適用版)														
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	改定理由				
27 覆工コンクリート(NATM)	製造(プラント)(JISマーク表示されたレディミキストコンクリートを使用する場合は除く)	その他	計量設備の計量精度		水:±1%以内 セメント:±1%以内 骨材:±3%以内 混和材:±2%以内 (高炉スラグ微粉末の場合は±1%以内) 混和剤:±3%以内	工事開始前、工事中1回/6ヶ月以上	レディミキストコンクリートの場合、印字記録により確認を行う。	○		27 覆工コンクリート(NATM)	製造(プラント)(JISマーク表示されたレディミキストコンクリートを使用する場合は除く)	計量設備の計量精度		水:±1%以内 セメント:±1%以内 骨材:±3%以内 混和材:±2%以内 (高炉スラグ微粉末の場合は±1%以内) 混和剤:±3%以内	工事開始前、工事中1回/6ヶ月以上	レディミキストコンクリートの場合、印字記録により確認を行う。	○					
			ミキサの練混ぜ性能試験	バッチミキサの場合: JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合: コンクリート内のモルタル量の偏差率:0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率:5%以下 圧縮強度の偏差率:7.5%以下 コンクリート内空気量の偏差率:10%以下 コンシステンシー(スランプ)の偏差率:15%以下	工事開始前及び工事中1回以上/12か月。		○														
				連続ミキサの場合: 土木学会規準 JSCE-I 502-293	コンクリート中のモルタル単位容積質量差:0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差:5%以下 圧縮強度差:7.5%以下 空気量差:1%以下 スランプ差:3cm以下	工事開始前及び工事中1回以上/12か月。		○														
			細骨材の表面水率試験	JIS A 1111	設計図書による	2回/日以上	レディミキストコンクリート以外の場合に適用する。	○														
			粗骨材の表面水率試験	JIS A 1125		1回/日以上		○														
			スランプ試験	JIS A 1101	スランプ5cm以上8cm未満:許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下:許容差±2.5cm	・荷卸し時 1回/日または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m3~150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。																
			単位水量測定	「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(案)(平成16年3月8日事務連絡)」	1)測定した単位水量が、配合設計±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2)測定した単位水量が、配合設計±15kg/m3を超え±20kg/m3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m3以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 なお、「15kg/m3以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m3以内の値を観測することをいう。 3)配合設計±20kg/m3の指示値を超える場合は、生コンを打込まずに、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m3以内になるまで全運搬車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回に限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。1)測定した単位水量が、配合設計±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工してよい。	100m ³ /日以上の場合: 2回/日(午前1回、午後1回)以上、重要構造物の場合は重要度に応じて100m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数は多い方を採用する。	・示方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20mm~25mmの場合は175kg/m ³ 、40mmの場合は165kg/m ³ を基本とする。															
			コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・荷卸し時または、工場出荷時に運搬車から採取した試料1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m3~150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。なお、テストピースは打設場所から採取し、1回につき6個(σ7・σ3個、σ28・σ3個)とする。																

新潟県土木部標準仕様書(その2)土木工事施工管理基準(品質管理基準及び規格値)新旧対照表(案)

現行(令和7年2月20日適用版)								改定案(令和8年1月20日適用版)										
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	試験成績表等による確認	改定理由
28 吹付けコンクリート(NATM)	施工	必須	塩化物総量規制	「コンクリートの耐久性向上」仕様書	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後に来る場合は、事前に1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数は3回とする)試験の判定は3回の測定値の平均値。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		28 吹付けコンクリート(NATM)	施工	必須	塩化物総量規制	「コンクリートの耐久性向上」仕様書	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後に来る場合は、事前に1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数は3回とする)試験の判定は3回の測定値の平均値。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		
			コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108 土木学会標準 JSCE-F561-2023	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。(1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	トンネル施工長40m毎に1回 材齢7日, 28日(2×3=6供試体)なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリートを吹付け、現場で7日間及び28日間放置後、φ5cmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回に6個(σ7…3個、σ28…3個、)とする。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。					コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108 土木学会標準 JSCE-F561-2023	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。(1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	トンネル施工長40m毎に1回 材齢7日, 28日(2×3=6供試体)なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリートを吹付け、現場で7日間及び28日間放置後、φ5cmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回に6個(σ7…3個、σ28…3個、)とする。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		
			吹付けコンクリートの初期強度(引抜きせん断強度)	引抜き方法による吹付けコンクリートの初期強度試験方法(JSCE-G561-0010)	1日強度で5N/mm ² 以上	トンネル施工長40mごとに1回	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。					吹付けコンクリートの初期強度(引抜きせん断強度)	引抜き方法による吹付けコンクリートの初期強度試験方法(JSCE-G561-0010)	1日強度で5N/mm ² 以上	トンネル施工長40mごとに1回	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		
			スランブ試験	JIS A 1101	スランブ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランブ8cm以上18cm以下：許容差±2.5cm	・荷卸し時 1回/日または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m3～150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。					スランブ試験	JIS A 1101	スランブ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランブ8cm以上18cm以下：許容差±2.5cm	・荷卸し時 1回/日または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m3～150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		
			空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日または構造物の重要度と工事の規模に応じて20～150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。					空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日または構造物の重要度と工事の規模に応じて20～150m3ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCEC502-2023, 503-2023)または設計図書の規定により行う。		
			コアによる強度試験	JIS A 1107	設計図書による。	品質に異常が認められた場合に行う。						コアによる強度試験	JIS A 1107	設計図書による。	品質に異常が認められた場合に行う。			
29 ロックボルト(NATM)	材料	その他	外観検査(ロックボルト)	・目視 ・寸法計測	設計図書による。	材質は製造会社の試験による。		○	29 ロックボルト(NATM)	材料	その他	外観検査(ロックボルト)	・目視 ・寸法計測	設計図書による。	材質は製造会社の試験による。		○	
			モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	1) 施工開始前に1回 2) 施工中は、トンネル施工延長50mごとに1回 3) 製造工場または品質の変更があるごとに1回						モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	1) 施工開始前に1回 2) 施工中は、トンネル施工延長50mごとに1回 3) 製造工場または品質の変更があるごとに1回			
			モルタルのフロー値試験	JIS R 5201	1) 施工開始前に1回 2) 施工中または必要の都度 3) 製造工場または品質の変更があるごとに1回		モルタルのフロー値試験					JIS R 5201	1) 施工開始前に1回 2) 施工中または必要の都度 3) 製造工場または品質の変更があるごとに1回					
ロックボルトの引抜き試験	参考資料「ロックボルトの引抜き試験」による	掘削の初期段階は20mごとに、その後は50mごとに実施、1断面当たり3本均等に行う(ただし、坑口部では両側壁各1本)。		掘削の初期段階は20mごとに、その後は50mごとに実施、1断面当たり3本均等に行う(ただし、坑口部では両側壁各1本)。		ロックボルトの引抜き試験	参考資料「ロックボルトの引抜き試験」による	掘削の初期段階は20mごとに、その後は50mごとに実施、1断面当たり3本均等に行う(ただし、坑口部では両側壁各1本)。										
30 路上再生路盤工	材料	必須	修正CBR試験	舗装調査・試験法便覧 [4]-568	修正CBR20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上、10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が100t以上、3,000t未満(コンクリートでは200m ³ 以上、1,000m ³ 未満)		30 路上再生路盤工	材料	必須	修正CBR試験	舗装調査・試験法便覧 [4]-568	修正CBR20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上、10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が100t以上、3,000t未満(コンクリートでは200m ³ 以上、1,000m ³ 未満)		
			土の粒度試験	JIS A 1204	舗装再生便覧表-3.2.8 路上再生路盤用素材の望ましい粒度範囲による	当初及び材料の変化時		土の粒度試験				JIS A 1204	舗装再生便覧表-3.2.9 路上で破砕した路上再生骨材の目標粒度範囲による	当初及び材料の変化時				
			土の含水比試験	JIS A 1203	設計図書による。			土の含水比試験				JIS A 1203	設計図書による。					
			土の液性限界・塑性限界試験	JIS A 1205	塑性指数PI：9以下			土の液性限界・塑性限界試験				JIS A 1205	塑性指数PI：9以下					

新潟県土木工事標準仕様書(その2) 写真管理基準 新旧対照表

現行(令和7年2月以降適用版)							改定案(令和8年1月以降適用版)							改定理由				
撮影箇所一覧表(出来形管理)【第3編 土木工事共通編】							撮影箇所一覧表(出来形管理)【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目					
						撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要										
						撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要										
3 土木工事共通編	1 一般施工	4 基礎工	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 [打込後]	3-1-4-4	3 土木工事共通編	1 一般施工	4 基礎工	4	1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 [打込後]	3-1-4-4	枝番の追加
						根入長	1施工箇所に1回 [打込前]								根入長	1施工箇所に1回 [打込前]		
						数量	全数量 [打込後]								数量	全数量 [打込後]		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 [処理前、中、後]								杭頭処理状況	1施工箇所に1回 [処理前、中、後]		
								3-1-4-4	3 土木工事共通編	1 一般施工	4 基礎工	4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント杭)	偏心量(鋼管杭・掘削心)	1施工箇所に1回 [打込後]	新規追加	
						根入長(鋼管杭、ロッド)	1施工箇所に1回 [打込前]								根入長(鋼管杭、ロッド)	1施工箇所に1回 [打込前]		
						数量、杭径(ソイルセメント柱径)	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後								数量、杭径(ソイルセメント柱径)	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 [処理前、中、後]								杭頭処理状況	1施工箇所に1回 [処理前、中、後]		
3 土木工事共通編	1 一般施工	7 地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 [打込後]	3-1-7-9	3 土木工事共通編	1 一般施工	7 地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 [打込後]	3-1-7-9	諸基準との整合
						深度	1施工箇所に1回 [打込前後]								深度	1施工箇所に1回 [打込前後]		
						ただし、(スラリー攪拌工)において、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。								ただし、(スラリー攪拌工)において、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)第8編固結工(スラリー攪拌工)・バーチカルドレーン編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。				